

第2分野 1－6 不要物の排出

- 1 次の文は、体内でできる不要な物質について説明したものである。あとの問いに答えなさい。

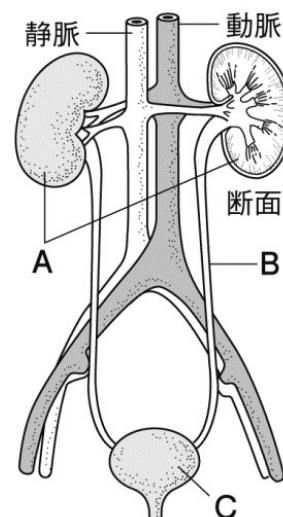
生物が活動していると、細胞のはたらきによって（ A ）や（ B ）などの不要な物質ができる。（ A ）は血液によって（ C ）まで運ばれ、呼吸によって排出される。（ B ）は肝臓によって害の少ない尿素につくり変えられる。肝臓にはそれ以外にも dいろいろなはたらきがある。

- (1) （ A ）にあてはまる物質は何か。次のア～エから1つ選び、その記号を答えなさい。
ア 窒素 イ 酸素 ウ 水素 エ 二酸化炭素
- (2) （ B ）にあてはまる物質は何か。その名称を答えなさい。
- (3) （ C ）にあてはまる器官は何か。次のア～エから1つ選び、その記号を答えなさい。
ア 心臓 イ 肺 ウ 肝臓 エ じん臓
- (4) 下線部 d について、肝臓のはたらきとして誤っているものはどれか。次のア～ウから1つ選び、その記号を答えなさい。
ア 脂肪の消化を助ける胆汁をつくる。
イ アルコールなどの有害な物質を無害にする。
ウ 消化管で消化された栄養分を吸収する。

(1)		(2)	
(3)		(4)	

- 2 右の図は、不要な物質の排出に関する器官を模式的に表したものである。以下の問いに答えなさい。

- (1) 血液中の尿素などの不要な物質をこしとる器官はどれか。図のA～Cから1つ選び、その記号を答えなさい。また、その器官が尿素以外にこしとる物質はどれか。次のア～ウから1つ選び、その記号を答えなさい。
ア 水分 イ ブドウ糖 ウ タンパク質
- (2) 尿をためておく器官はどれか。図のA～Cから1つ選び、その記号を答えなさい。また、その器官の名称を答えなさい。



(1)	(器官)
	(物質)
(2)	(器官)
	(名称)